

テーマ

人の情報処理のあいまいさを活用する技術

適用分野

主観情報処理、ファジィ理論

研究名称

主観情報処理(Subjective Information Processing:SIP)
一人の行う情報処理、判断・評価の主観性の解析

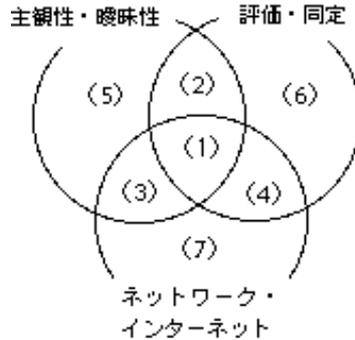
氏名
所属

吉川 歩 教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

人の情報処理、特に程度判断や評価の主観性に興味を持ち、それらを定量的に解析し、その知見を工学などの諸分野へ応用することを目的として研究を行っている。この学問分野を主観情報処理と名づけている。



●研究内容

現在研究を行っているテーマには次のようなものがある。

(1)ファジィ集合の同定法（主観性+評価+ネット）：あいまいさの程度を定量的に表すファジィ集合を同定する方法である境界漸近推定法の研究・開発。

(2)主観を考慮した心理尺度構成法（主観性+評価）：個人差や目盛に使われる言葉のあいまいさを考慮した解析手法であるファジィ範疇法・多重尺度図法の研究・開発。

(3)計算機上でのファジィ集合の表現法（主観性+ネット）：台形型・三角形型など区分線形ファジィ集合の処理システムの基礎的研究・開発。

(4)計算機を援用した評価支援システム（評価+ネット）：PDAやパソコンを利用した出欠や授業評価アンケートを収集するシステムの研究・開発。

(5)あいまいな概念間の類似度・一致度（主観性）：主観を反映したあいまいな概念間の類似度や一致度の演算方法の検証、2つのあいまいな概念や程度の間（あいだ）を表す演算の導出に関する基礎的研究。

(6)低解像度ナンバープレート数字の識別法（評価）：ファジィ集合とファジィ規則を利用することで、画像中の目視識別困難なナンバープレートの数字を識別する方法の研究・開発。

・参考ウェブサイト：<http://www.sip-ac.jp/>

キーワード

主観性、あいまい性、ファジィ（理論・集合・規則・評価）、同定

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 □ コメント ■ 共同研究